

土砂災害

土砂災害の種類と前兆現象

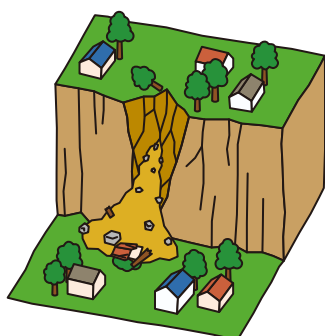
下記のような現象が見られたら、土砂災害の前兆。

土石流



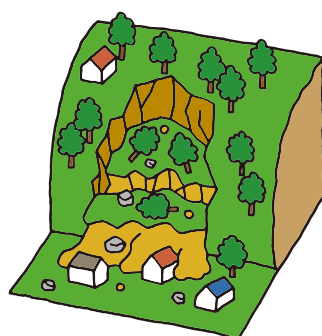
長雨や集中豪雨などで、山腹や谷の土砂や石が一気に流される現象。

がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)



斜面の地表に近い部分が雨水の浸透や地震などでゆるみ崩れる現象。

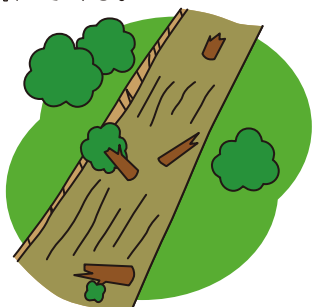
地すべり



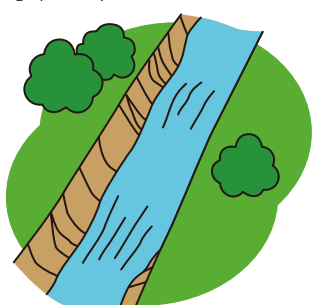
地下水の影響と重力によって、斜面が下方に移動する現象。

前兆現象

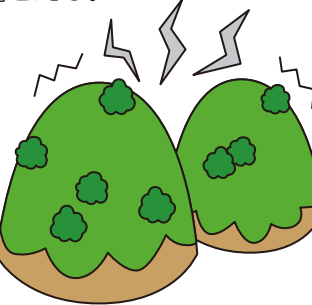
- 川の水が急に濁ったり、流木が流れてくる。



- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。

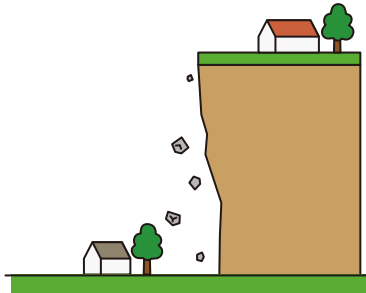


- 山鳴りや立ち木の裂ける音が聞こえる。

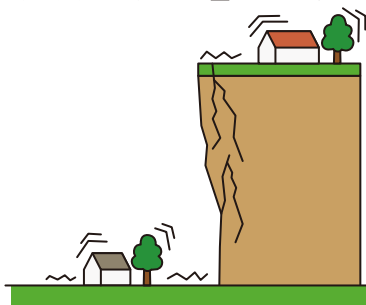


前兆現象

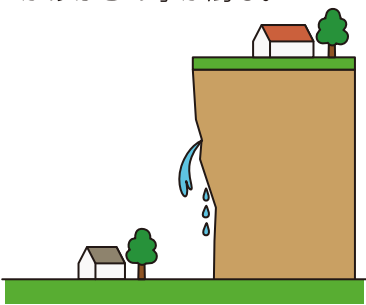
- がけから小石がパラパラ落ちてくる。



- 斜面に亀裂やはらみが見られたり、がけから音がする。

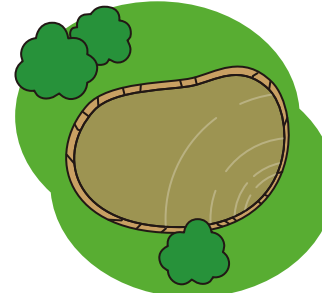


- がけから水が吹き出したり、がけからの水が濁る。

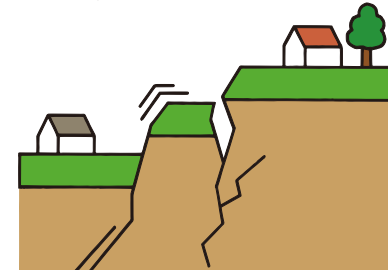


前兆現象

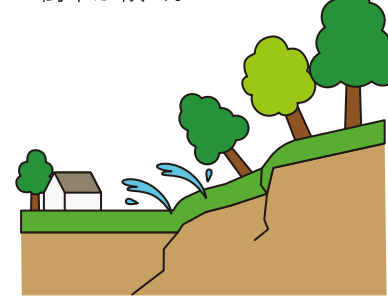
- 沢や井戸の水が濁る。



- 地面がひび割れ、陥没ができる。



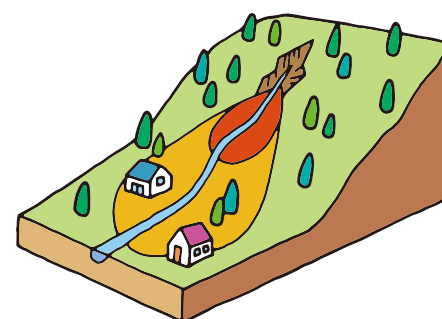
- 斜面から水がふき出したり、樹木が傾く。



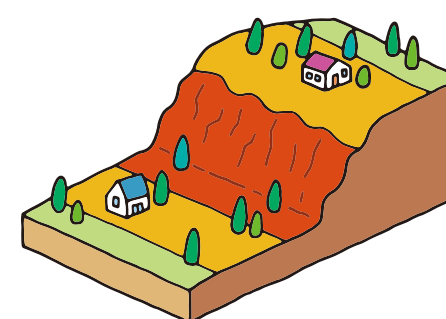
土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害防止法に基づき、土砂災害の被害を受けるおそれのある区域を、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」に指定しています。

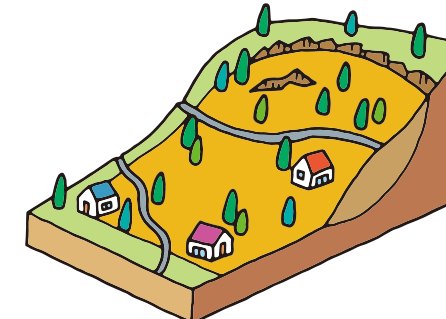
● 土石流



● がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)



● 地すべり

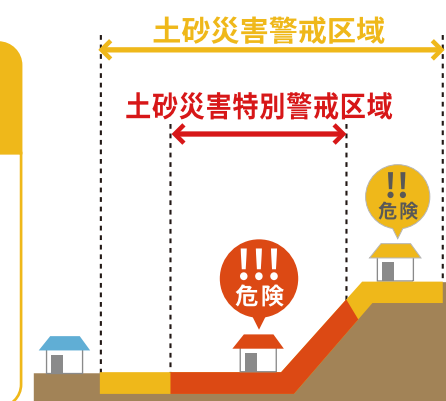


土砂災害特別警戒区域 (通称：レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊や土石流等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命、または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害警戒区域 (通称：イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊や土石流等が発生した場合に、住民等の生命、または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

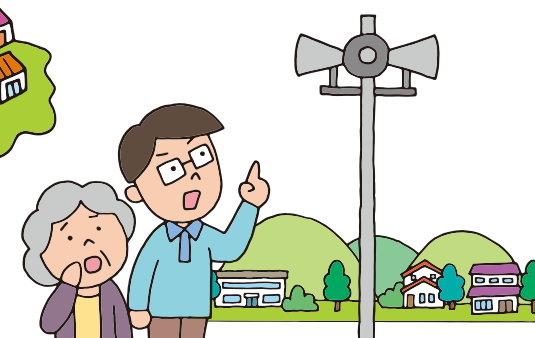


避難のポイント

- がけのそばにいる場合は、がけの高さの2倍の距離の所まで離れましょう。土石流の場合は、流れから直角方向に向かって、高い所に逃げてください。



- 「土砂災害警戒情報」が発表された場合は、危険度があがっている状態なので、気象情報や防災情報に注意。「高齢者等避難」が発令される前でも、身の危険を感じた時は自主的に避難しましょう。また、夜間に大雨が予想される時には、暗くなる前に避難するのが安全です。



- 土砂災害の犠牲者の半数以上は、お年寄りなどの行動要支援者です。避難所までの移動に時間がかかるので、早めに避難を心掛けましょう。



注意！

土砂災害の多くは、木造1階で被災しています。雨が激しくて避難所への避難が困難な場合は、次善の策として近くにある頑丈な建物の2階以上に避難しましょう。さらに外に出るのも危険な時には、家の中のより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。

前兆現象に注意し、危険を感じたら速やかに避難しましょう！